

## 平成 23 年度井原市公共交通会議事業報告書

### 1. 公共交通の維持再編に係る実施事業

#### (1) 実施概要

平成 23 年度から平成 27 年度までを計画期間とする「井原市地域公共交通総合連携計画」の基本方針・目標に基づき、平成 23 年度に具体的な内容について検討し、平成 24 年度と平成 25 年の 2 カ年で、市内のバスの路線・ダイヤの見直し、予約型乗合タクシーの運行拡大を進める。

#### (2) 実施結果

##### ① 予約型乗合タクシーの試験的運行の拡大

芳井地区において平成 22 年度から試験的に運行している「予約型乗合タクシー」について、平成 23 年 10 月から「路線定期運行を区域運行へ」、「1 日 1 往復を 1 日 2 往復へ」などについて変更し、試験的運行の拡大を行った。

##### ② 調査

###### ● 利用状況調査

井原市内を走るバスの利用状況を把握するため、市内全バス路線において、平成 23 年 11 月に 7 運行日の乗降客をカウントする乗り込み調査を行った。また、同時に利用者を対象に聞き取り調査を実施した。

###### ● 利用者へのアンケート調査

利用状況調査の結果から、通学における高校生のバス利用実態を把握する必要性が生じたため、平成 24 年 1 月下旬から 2 月上旬に高校生を対象としたアンケート調査を実施した。

##### ③ 路線・ダイヤの見直し

###### ● 路線・ダイヤの見直し方針

利用状況調査及び利用者へのアンケート調査の結果をもとに、「井原市地域公共交通総合連携計画」に掲げる路線再編イメージを具体化し、路線・ダイヤの見直し方針を決定した。

###### 【路線・ダイヤの見直し方針】

幹線	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 通勤・通学に便利なダイヤ編成によるサービス水準向上</li> <li>● 交通結節点における乗り継ぎ利便性向上</li> <li>● 経路の見直し及び重複区間における輸送効率改善</li> </ul>
支線	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 運行区間の整理</li> <li>● 生活拠点への移動の確保</li> <li>● 運行間隔及び運行便数の調整</li> </ul>
端末交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幹線・支線とのスムーズな乗り継ぎの実現</li> <li>● 地域の実情や利用動向に応じた運行形態の導入</li> <li>● 公共交通空白地区の解消</li> </ul>

###### ● 路線・ダイヤの見直し内容

路線・ダイヤの見直し方針をもとに、幹線・支線及び端末交通それぞれについての具体的な見直し内容の検討を行った。（※路線ごとの具体的な事項について、交通事業者、関係機関と調整中。）

###### 【主な見直し内容】

幹線	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 高校生などの帰宅時間帯の増便や最終便の時刻繰り下げ</li> <li>● 運行区間や途中経路の変更・統一</li> <li>● 乗り継ぎを考慮した発着時刻の調整</li> </ul>
支線	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 複数の路線が運行されている区間における続行運行の解消</li> <li>● 平日の日中や休日における運行便数の調整や運行形態の変更</li> </ul>
端末交通	<ul style="list-style-type: none"> <li>● 幹線・支線の見直しにあわせた接続の改善</li> <li>● 予約型乗合タクシーの運行拡大（新規・バス運行区間見直しによる代替）</li> </ul>

## 2. 「バス体験学習会」の開催

### (1) 実施概要

#### ① 目的

子どもたちにバスに親んでもらい、バスの将来的な維持継続に向けた利用促進に繋げることを目的として、井原市内の小学生を対象に「バス体験学習会」を開催した。

#### ② 開催形態

出前講座（交通事業者の担当者が小学校に出向いて「バスの乗り方教室」の授業を行う）

※参加者数に応じ、あいあいバス、一般路線バスの車両を用意

#### ③ 実施内容

- バスの乗降方法の説明・体験  
(整理券の取り方、運賃表の見方、運賃の支払い方法等)
- 乗車マナーの説明  
(バスの中では、ふざけたり騒いだりして他の人に迷惑をかけてはいけないこと等)
- 交通安全に関する説明・体験  
(バスから降りるときの注意点、バスの前には運転手から見えない場所があること等を、バスの前に立ったり、運転席に座ったりして確認)

#### ④ 周知及び募集方法

井原市内の各小学校に募集案内を行い、小学校からの申込に応じて開催した。

### (2) 実施結果

井原市内の出部、木之子、井原、荏原、高屋、野上の計6小学校で計234人を対象に実施した。参加した小学生からは、「楽しかった」、「今度は、動いているバスに乗ってみたい」などの感想があった。

また、参加した小学生には、バスの時刻表とともに、井原あいあいバスパーカーラフト、「公共交通利用の日」啓発クリアファイルを配付した。

### (3) アンケート調査

実施効果を把握し、次年度以降の継続実施を検討するため平成24年3月にアンケート調査を実施した。

「バス体験学習会」を受講した小学生234人の回答（複数回答）

項目	人数
バス体験学習会のことを家の人に話した	170人
バスのまわりは危ないので、気を付けないといけないことがわかった	221人
バス体験学習会の授業を受けて、バスに乗ってみたいとなった	183人
バス体験学習会が終わってから今日までに、バスに1回以上乗った	85人



### 3. 「公共交通かわら版」の発行

#### (1) 実施概要

##### ① 目的

地域と協働して公共交通体系を維持していくにあたり、「井原市地域公共交通総合連携計画」で実施する様々な取組の内容や実施状況を地域住民に紹介する「いばら 公共交通かわら版」を5回発行し、情報の共有化に取り組んだ。

##### ② 配布方法

- 「広報いばら」に折り込み全世帯に配布
- 市役所・支所のパンフレット置き場等に設置
- 市役所ホームページに掲載



創刊号（平成23年8月15日発行）

#### (2) 実施結果

##### ① 創刊号（平成23年8月15日発行）

- 「公共交通かわら版」の発行について
- 「井原市地域公共交通総合連携計画」を策定しました
- 岡山大学との「交通まちづくり共同研究事業」を実施します
- 井原市地域公共交通総合連携計画の概要（特集）



第2号（平成23年9月15日発行）

##### ② 第2号（平成23年9月15日発行）

- 「井原市公共交通祭り」の開催について（全面）

##### ③ 第3号（平成24年1月10日発行）

- 公共交通の利用状況について
- 利用促進に向けた取り組み



第3号（平成24年1月10日発行）

##### ④ 第4号（平成24年2月15日発行）

- 「井原市公共交通シンポジウム」の開催について（全面）

##### ⑤ 第5号（平成24年3月15日発行）

- バス路線・ダイヤの見直しについて
- 利用促進に向けた取り組み



第4号（平成24年2月15日発行）



第5号（平成24年3月15日発行）

## 4. 公共交通利用のPR

### (1) 実施概要

#### ① 目的

「井原市地域公共交通総合連携計画」の取組の1つとして、地域と協働して公共交通体系を維持していくにあたり、岡山県・岡山県公共交通利用県民運動をすすめる会が取り組んでいる「公共交通利用の日」(毎月最終金曜日)を、井原市公共交通会議でも独自にPRするなど、公共交通の利用啓発に取り組んだ。

#### ② PR 方法

- ポスターの作成・掲出
- クリアファイルの作成・配付
- 「井原あいあいバス」ペーパークラフトの作成・配付
- バス・鉄道車両への車体広告(ラッピング)

### (2) 実施結果

#### ① ポスター

ア. 作成部数等 B1 縦 500 部

#### イ. 掲出先

- 市内の公共施設
- 井原鉄道の駅、井原バスセンター

#### ② クリアファイル

ア. 作成部数等 A4 縦 10,000 部

#### イ. 配付方法

- 「井原市公共交通祭り」の展示車両内において配付
- 「バス体験学習会」の参加者に配付
- 会議・シンポジウム・打合せの資料入れとして利用

#### ③ 「井原あいあいバス」ペーパークラフト

ア. 作成部数等 A4 横 2,000 部

#### イ. 配付方法

- 「バス体験学習会」の参加者に配付

#### ④ バス・鉄道車両への車体広告(ラッピング)

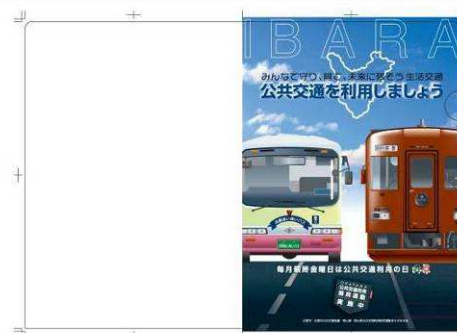
- 井笠鉄道のバス3台、北振バス2台、井原線1両にジーンズのラッピングを施し、平成24年2月1日から運行
- バスには「さあ！バスに乗って出かけよう。」、井原線には「さあ！井原線で出かけよう。」のキャッチフレーズを入れ、公共交通の利用を呼びかけた。

### (3) その他

井原市役所においても、平成23年11月に毎月最終金曜日を井原市職員「公共交通利用の日」として設定し、職員の公共交通の利用促進に取り組んだ。



啓発ポスター



啓発クリアファイル



「井原あいあいバス」ペーパークラフト



ラッピング車両

## 5. 「井原市公共交通祭り」の開催

### (1) 開催概要

#### ① 目的

「井原市地域公共交通総合連携計画」の取組の1つとして、地域と協働して公共交通体系を維持していくにあたり、地域住民に公共交通に親しんでもらい、生活交通を見直すきっかけの場とすることを目的に、「井原市公共交通祭り」を開催した。

#### ② 主催・後援

【主催】 井原市公共交通祭り実行委員会

【後援】 国土交通省中国運輸局岡山運輸支局、岡山県

#### ③ 参加事業者

【バス事業者】 井笠鉄道(株)、北振バス(株)、備北バス(株)

【タクシー事業者】 日の丸タクシー(株)、一丸タクシー(株)、井原交通(株)

【鉄道事業者】 井原鉄道(株)

#### ④ 日時

平成 23 年 10 月 10 日 (月・祝) 10:00～16:00

#### ⑤ 会場

井原駅前広場、井原駅ビル1階フロア

※ 同日、井原鉄道車両基地にて開催される「井原鉄道基地喜知祭り2011」(井原鉄道(株)主催)も公共交通祭りの一環として開催

※ 井原ミリオンズクラブ主催イベント「かあちゃんグルメグランプリ in 井原」と同時開催

#### ⑥ 実施内容

- パネル展「井原市の公共交通の歩み」
- バス・タクシー車両展示
- バスの乗り方教室
- 公共交通〇×クイズ大会
- 交通事業者ブースでのグッズ等販売、情報提供

#### ⑦ 広報・宣伝関係

##### ア. ポスターの掲出

400 枚作成し、交通事業者の駅・車両、市内の公共施設等に掲出。

##### イ. チラシの配布・設置

100,000 枚作成し、うち 83,950 部を井原市及び隣接市町に新聞折り込み。残りは交通事業者の駅・車両、市内の公共施設に配付・設置。また、市内の小中学校・幼稚園・保育園の全児童生徒・園児に配付。

##### ウ. プレスリリース

9 月 13 日に、井原市よりプレスリリースを実施(井原鉄道(株)も同日に別途リリースを実施)。

##### エ. インターネットを活用した情報発信

交通事業者、市及び関係団体の web サイトにおいて発信。



## ⑧ その他

### ア. 交通規制

- 当日の7:30～17:30に、井原駅前広場ロータリー内への車両進入を禁止
- 11/1から会場周辺5か所において事前周知

### イ. 駐車場

井原鉄道「早雲の里荏原駅」付近に、次の2か所の臨時駐車場を確保。

- 井原鉄道「早雲の里荏原駅」駐車場北側部分（70台）
- (株)化繊ノズル製作所従業員駐車場（330台）

### ウ. 臨時列車の運行

本会場（井原駅）と駐車場（早雲の里荏原駅）及び同日に開催される「井原鉄道基地喜知祭り2011」の会場（井原鉄道車両基地）間を結ぶ無料臨時列車「お祭りラリー列車」を運行（18往復36便）

## (2) 実施結果

### ① パネル展「井原市の公共交通の歩み」

#### ア. 時間

10:00～15:30

#### イ. 場所

井原駅ビル1階フロア

#### ウ. 展示物

- 井笠鉄道の軽便鉄道時代の風景を描いた絵画等（32枚）
- 井原鉄道のこれまでの歩みを紹介する写真（27枚）
- 備北バスの昔の車両の写真（6枚）

#### エ. その他

開催日の翌日以降、次の3か所において巡回展示を実施

- 井原市役所本庁舎1階市民サロン（10/11～10/21の平日）
- 芳井生涯学習センター（10/25～10/28）
- 井原市役所美星支所（10/24～10/28）



井原市役所本庁舎1階市民サロン



芳井生涯学習センター



井原市役所美星支所

## ② バス・タクシー車両展示

### ア. 時間

10:00～15:30

### イ. 場所

井原駅前広場（バス・タクシーレーン、タクシー待合スペース）

### ウ. 展示車両

#### i) 井笠鉄道株式会社

- ハイブリッド型高速バス（日野自動車デモ車両）
- ノンステップ型小型バス（日野自動車デモ車両）
- 井原あいあいバス
- リフト付き小型バス

#### ii) 北振バス株式会社

- 一般路線バス

#### iii) 備北バス株式会社

- ボンネットバス（高梁市吹屋地区にて11/3より運行中のトヨタDB100型バス）

#### iv) 日の丸タクシー株式会社

- 福祉タクシー
- ハイブリッド型タクシー

#### v) 一丸タクシー株式会社

- 福祉タクシー

#### vi) 井原交通株式会社

- 福祉タクシー

### エ. 展示方法

- 各車両の近くには交通事業者のスタッフが待機し、特徴等をPR。
- バス車両の前面には、車両の諸元を表示したパネルを貼付。
- 車両には自由な乗り込みが可能であり、希望者には、運転席にて帽子を着用しての記念撮影を実施。



### ③ バスの乗り方教室

#### ア. 時間

【第1回】12:45～13:15

【第2回】14:00～14:30 計2回開催

#### イ. 場所

井原駅前広場（展示車両）

#### ウ. 実施内容

- 当日、会場にて参加者を募集。
- 展示車両（井原あいあいバス、一般路線バス）を使用
- バス事業者及び岡山運輸支局の担当者が、バスの乗降方法や乗車中のマナー等をわかりやすく解説。
- 参加者には次の記念品を進呈。
- 参加者の顔写真入り修了証
- 井原あいあいバスペーパークラフト
- 「公共交通利用の日」啓発クリアファイル
- バス型消しゴム（岡山運輸支局提供）
- 「エコモ環境BOOK」（岡山運輸支局提供）

#### エ. 参加者数

第1回：33名、第2回：15名



### ④ 公共交通〇×クイズ大会

#### ア. 時間

11:30～12:00

#### イ. 場所

井原駅前広場（イベントスペース）

#### ウ. 内容

- 当日、会場にて参加者を募集。
- 公共交通に関する〇×クイズを出題し、上位の正解者に賞品を進呈。
- 進行はブロードキャストが担当。

#### エ. 参加者数

約500名

#### オ. 賞品

【A賞】井原市の特産品詰め合わせ（1名）

【B賞】デニム生地のバッグ（3名）

【C賞】井原鉄道ホリデーパス（5名）

【グルメ賞】「かあちゃんグルメグランプリ in 井原」で利用できる食事券（10名）





## ⑤ 交通事業者ブースでのグッズ等販売、情報提供

### ア. 時間

10:00～15:30

### イ. 場所

井原駅前広場（井原駅ビル前東側スペース）

### ウ. 内容

- 各交通事業者によるグッズ販売
- PR チラシやパンフレット等の展示・配布等



## ⑥ その他

### ア. 駐車場の利用状況

- 早雲の里荏原駅北側駐車場は午前9時頃に満車となり、満車状態は午後まで継続。
- (株)化繊ノズル製作所社員駐車場は、午前11時半頃に最大で7～8割程度まで埋まるものの、満車にはならず。

### イ. 臨時列車の利用状況

- 常時満員の状態が続き、積み残しも発生した。



## 6. 「井原市公共交通シンポジウム」の開催

### (1) 実施概要

#### ① 目的

「井原市地域公共交通総合連携計画」の取組の1つとして、地域と協働して公共交通体系を維持していくにあたり、地域住民とともに生活交通を考えるきっかけの場とすることを目的として「井原市公共交通シンポジウム」を開催した。

#### ② 主催

井原市・井原市公共交通会議

#### ③ 日時

平成24年3月3日（土）13:30 開演（13:00 開場）

#### ④ 会場

井笠地域地場産業振興センター 5階大会議室

#### ⑤ 実施内容

##### ● 基調講演

演題「みんなが当事者となって育てる地域交通」

講師 鈴木 文彦 氏（交通ジャーナリスト）

##### ● パネルディスカッション

テーマ「井原の公共交通を考える

～地域の生活を維持するために～」

コーディネーター

橋本 成仁 氏（岡山大学大学院 環境学研究科 准教授）

パネリスト

鈴木 文彦 氏（交通ジャーナリスト）

川上 綾音 さん（利用者代表：高校生・美星町在住）

清水 明人 氏（公共交通サポーター：井原マイレールプラザ会長）

仁科 隆 氏（交通事業者：北振バス株式会社 代表取締役  
・井原市公共交通会議 副会長）

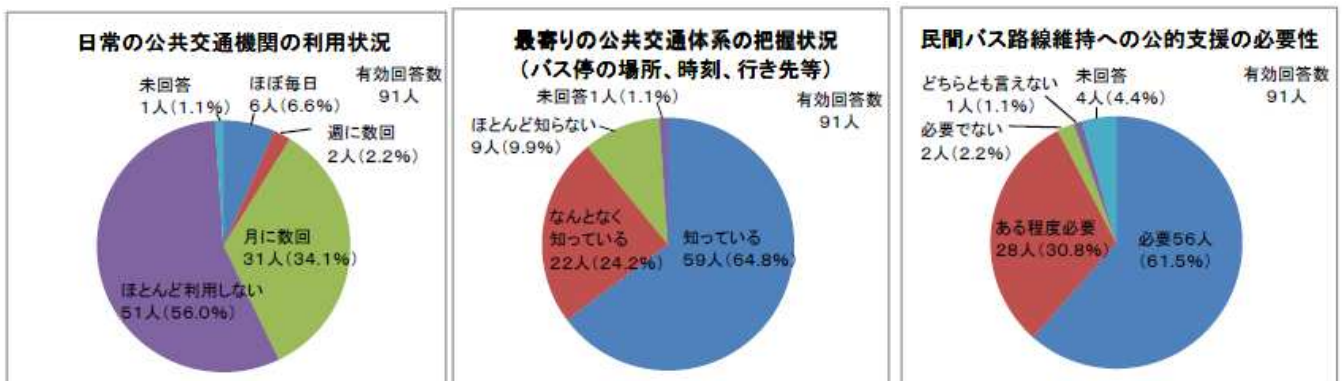


### (2) 実施結果

基調講演やパネルディスカッションを通じて、101名の聴講者とともに地域の公共交通の将来について考えることができた。（資料2 「井原市公共交通シンポジウム」実施結果概要）

### (3) アンケート調査

今後の施策の参考とするため、シンポジウムの聴講者へアンケート調査を行った。



## 平成 24 年度井原市公共交通会議事業計画（案）

### 1. 公共交通の維持再編に係る実施事業

平成 23 年度から平成 27 年度までを計画期間とする「井原市地域公共交通総合連携計画」の基本方針・目標に基づき、平成 24 年度と平成 25 年度の 2 年間で、市内のバスの路線・ダイヤの見直し、予約型乗合タクシーの運行拡大を進める。

#### 【平成 24 年度の事業内容】

- ・ 平成 23 年度に公共交通会議で検討した路線・ダイヤの見直し内容について、平成 24 年 10 月からの見直し運行を目標に、交通事業者や関係機関との調整、住民への説明を行う。
- ・ 利便性向上のため、交通結節点における待合施設等の整備を行う。
- ・ 市内全バス路線において、11 月に利用状況調査（7 運行日の乗降調査・聞き取り調査）を実施する。
- ・ 学校・企業・福祉施設等へのヒアリング調査を実施する。

### 2. 公共交通利用促進事業

#### (1) 「バス体験学習会」の開催

子どもたちにバスに親しんでもらい、バスの将来的な維持継続に向けた利用促進に繋げることを目的として、昨年度初めて開催し、事業効果のあった「バス体験学習会」を引き続き開催する。



#### (2) 「いばら公共交通かわら版」の発行

地域と協働して公共交通体系を維持していくにあたり、「井原市地域公共交通総合連携計画」で実施する様々な取組の内容や実施状況を地域住民に紹介する「いばら公共交通かわら版」を昨年度に引き続き発行する。



#### (3) 公共交通利用のPR

地域と協働して公共交通体系を維持していくにあたり、岡山県・岡山県公共交通利用県民運動をすすめる会が取り組んでいる「公共交通利用の日」（毎月最終金曜日）を、井原市公共交通会議でも引き続き独自にPRし、また、路線・ダイヤの見直しに合わせた利用啓発の時刻表を作成するなど、公共交通の利用啓発に引き続き取り組む。

#### (4) 「公共交通祭り」の開催

地域住民に公共交通に親しんでもらい、生活交通を見直すきっかけの場とすることを目的に、昨年度初めて開催し盛況であった「井原市公共交通祭り」を他のイベントの一環として引き続き開催する。



### 3. 岡山大学との交通まちづくり共同研究事業

公共交通が地域の生活に及ぼす影響評価を行い、施策の効果測定に資する評価指標の作成や住民満足度の評価・分析等を実施し、生活交通の意義を明らかにする。

（研究期間：平成 23 年 7 月 15 日～平成 26 年 3 月 31 日）